

（財）自治体国際化協会ロンドン事務所マンスリートピック（2012年5月）

【貧困に苦しむ海岸地域を救え ～ 政府が新補助金制度を設置】

コミュニティ・地方自治省（Department for Communities and Local Government、DCLG）は、2012年2月、「海岸地域コミュニティ再生ファンド（Coastal Communities Fund）」からの補助金交付を希望する自治体、団体等向けの募集要項を発行した。「海岸地域コミュニティ再生ファンド」とは、英国の海岸地域に位置する小規模コミュニティの経済活性化プログラムを対象とする補助金制度であり、2011年7月に財務省が設置を発表した。

このファンドは公募制であり、海岸沿いの地域の自治体、地域産業パートナーシップ（Local Enterprise Partnership、LEPs）¹、慈善団体、社会的企業（social enterprises）、住民組織、民間企業などで、補助金の交付を希望する組織・団体は、実施したい経済活性化プログラムの内容を添えて応募し、審査に通る必要がある。補助金交付の対象となるプログラムは、環境、教育、保健、観光、交通等の分野で地域の経済成長を促進することが期待できる事業である。DCLGのガイダンスは、これらの事業の例として、職業訓練提供プログラム、間もなく義務教育を修了する若者（school leavers）を対象とする徒弟制度プログラム（apprenticeships）²、新しいオフィスや事業所の建設・整備事業、小規模な公共交通施設の改善事業、再生可能エネルギー事業、洪水対策や海岸浸食の対策事業などを挙げている。なお、このファンドの制度において、「海岸沿いのコミュニティ（coastal community）」は、「英国の国土に属する『前浜（foreshore）』³を管轄地域に含む自治体内の海岸沿いの集落」と定義されている。

同ファンドの財源は、既に予定されている中央政府の支出額の中から拠出され、「クラウン・エステート（Crown Estate）」⁴の海岸地域と海での業務から得られる年間収益の50%に相当する金額が、財務省より、ファンドの1年間の資金として割り当てられる。補助金交付先の決定は、イングランドではDCLGが、イングランド以外の地域ではスコットランド政

¹ LEPsとは、地域の経済開発促進を担う自治体と企業のパートナーシップであり、イングランド各地に設置されている。

² 「徒弟制度プログラム」とは、給与を得て働きながら、仕事に必要な職業技術を学び、資格を取得することを目指す仕組みである。

³ 「前浜（foreshore）」とは、満潮時の海岸線と干潮時の海岸線の間にあたる地帯を指す言葉で、「潮間帯」とも呼ばれる。

⁴ 「クラウン・エステート」は、英国君主に属する不動産の管理を行う公益法人である。「1956年クラウン・エステート法（Crown Estate Act 1956）」及び「1961年クラウン・エステート（Crown Estate Act 1961）」によって設置された。1961年法の規定により、「クラウン・エステート」は、英国内の「前浜（foreshore）」の大半、国連海洋法条約で規定された基線から12海里までの英国の領海内のほぼ全ての海底を所有している。「クラウン・エステート」の海岸地域及び海での業務には、骨材（海底から採掘される砂利や砂で、コンクリートなどの材料になる）の採掘の許可、通信用海底ケーブルやガス、石油用の海底パイプラインの敷設許可などが含まれる。

府、ウェールズ政府、北アイルランド政府内にそれぞれ設置される委員会が行う。補助金申請の応募書類の受付、補助金の交付業務は、国営宝くじの収益金の慈善団体等への分配をその役割とする公的機関である「ビッグ・ロタリー・ファンド (Big Lottery Fund)」の一部門である「ビッグ・ファンド (Big Fund)」が行う⁵。一事業当たりの補助金支給額は、最低で5万ポンド、最大で200万ポンドほどになる見込みである。また、DCLGのガイドラインは、同ファンドの実施期間について、「少なくとも2014年度までは継続する予定」であるとしている。

英国では、貧困は都市中心部の問題であると見なされることが多い。しかし、地域再生政策の専門家は、かねてより、海岸沿いの地域も、漁業と観光業の衰退による経済の停滞、そして中央政府が支援策を実施せず、財源も提供していないことによって、困難な状況に陥っていると主張している。そうした主張を裏付けるかのように、DCLGが2011年3月に発表した「2010年版イングランドの地域の貧困に関する指標 (English Indices of Deprivation 2010)」では、エセックス県テンドリング市内の海岸沿いの地域であるジェイウィック・サンズ (Jaywick Sands) 地区が、イングランドで最も貧しい地域であるとの結果が示された。「イングランドの地域の貧困に関する指標」は、イングランド内の地域の貧困度を、細かく分けたエリアごとに、様々な指標を使って比較する調査であり、2004年から発表されている。ジェイウィック・サンズ地区は、一般に、貧困地区であるとのイメージを持たれていないため、この結果は、保守党が与党であるテンドリング市の自治体にも大きな衝撃を与えた。なお、2010年に発表された2009年の同調査では、リバプール市内の内陸の地区であり、都市中心部のエリアであるブレックフィールド (Breckfield) 地区が最も貧しい地域であるとの結果が出ていた。

⁵ 「ビッグ・ファンド」は、「ビッグ・ロタリー・ファンド」の一部門であり、国営宝くじの収益金以外の資金を、地域住民の健康向上、教育、環境改善等を目的とするプログラムへ、補助金として配分することなどをその役割としている。